**クラブ研修リーダーの手引き**

**研修の重要性について**　　　(決議10－01　フランス　Lille-Europeクラブ提案)

　新会員も古くからの会員も含め、ＲＩならびにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠如しているロータリアンが多く見られる。これは、クラブが徹底した定期研修を提供していないことに起因している。さらに、クラブ会長などといったクラブの責務を引き受ける前に、指導力を改善する機会が与えられていないロータリアンが多すぎる。（一部割愛）

　クラブ研修リーダーに就任された皆さんには、会員に対してロータリーに関する情報を正しく伝えるという大変重要な任務があることを自覚してください。

ロータリークラブ、或いはロータリーに対する多くのロータリアンの認識が、例会に出席して昼食を共にし、卓話を聞いて帰るのがロータリーだというもののように感じます。またあるクラブでは、親睦が何よりも大切だから、うちのクラブでは親睦オンリーで運営しますと言っておられます。こうした認識がロータリークラブが衰退した、或いは衰退する最も大きな原因の一つではないでしょうか。

　ロータリーは奉仕をする人の集まりだ。多くの皆さんがこのように話しておられます。確かにその通りです。しかし、もう一歩踏み込んでだから私たちは奉仕をしなければならない、と言って頂きたいと思います。奉仕をする人の集まりなんですから。地区内のクラブ会員は、皆さん全員が奉仕活動を実践しておられるでしょうか。今一度謙虚な気持ちで奉仕活動を実践して行きたいものです。

　　ロータリーの綱領が目的に変更になりました。これは日本語訳が変更になっただけですが、目的になって大変分かりやすくなったと思います。私たちはこの目的達成のためにどうすれば良いのか。何をすれば良いのか。こうした事をクラブの皆さんにと共に語り合うこともクラブ研修リーダーの大切な任務の一つだとお考えください。

**ＳＡＡとクラブ研修リーダー**

　　ＳＡＡは委員会ではありません。例会等がスムースに開催されるよう監督する役割です。例会等の運営には、会長以上の権限を有します。多くのクラブで理事に選挙しています。

　　クラブ研修リーダーも、理事に加えて理事会決定が組織規程に反しないかをチェックすると共に、会員に対して充実した研修を実施して頂きたい。従って、パスト会長で順送りにするのではなくて、組織規程やロータリー全般に詳しい会員を選任して頂きたい。

**クラブ研修リーダーの位置づけと役割について**

　委員会構成や委員会の役割は、クラブが決定します。櫻木ガバナーは、クラブ研修リーダーを設置して頂きたいとお願いしてします。地区研修員会では次のことを期待しています。

－ １ －

　１. クラブ研修リーダーを理事会のメンバーに加えるよう期待します。

　２. クラブ研修リーダーは、ＳＡＡと同様に取り扱うよう期待します。

　３. 新会員のオリエンテーションを担当するよう期待します

　４. 従来からの会員に対する研修を担当するよう期待します。

**クラブ研修リーダーが実施すべき研修等**

クラブ研修リーダーに就任された皆様は、クラブ会員に対して次のような研修を実施する役割を担うよう期待します。

1. 出来たら毎月1回の例会(例会プログラムの都合により毎月でなくとも結構です)において、ロータリーについての卓話をする。
2. 新会員入会式前に新会員オリエンテーションを開催し、ロータリーについて幅広く説明する。
3. 入会３年未満の会員を対象にして、研修を行う。
4. 家庭集会（炉辺会合）を実施して、全出席者と共にロータリーについて話し合う。
5. 週報に、ロータリーに関する情報を掲載する。
6. 地区の各委員会が実施開催するセミナーには、積極的に参加する。

**新会員オリエンテーションの開催**

　　新会員が入会前に開催するオリエンテーションは、大切な研修です。

　　新会員は、大きな希望と期待をもって入会を決意しています。そうした新会員を暖かくクラブに迎えて、その新会員が素晴らしいロータリアンになるために、ロータリーについての様々な事柄を幅広く（あまり専門的でなく）解説してください。

　　新会員オリエンテーションの手引きを作成しましたので、これをご覧頂き、しっかりしたオリエンテーションを実施してください。ロータリーの歴史、会員の義務と特典、組織規程、その改正方法、例会への出席、例会以外の会合、ロータリー財団、米山記念奨学会、決議23－34等々を、広く浅く説明してください。所要時間は２時間程度を推奨します。

　　新会員入会式の手引きも作成しましたので、有効に利用してください。

**従来からの会員への研修**

　　クラブ研修リーダーの皆さんが、まずロータリーに精通して頂きたい。その上でクラブ内の全会員に対して、ＲＩならびにロータリー財団、米山記念奨学会の、それぞれの目標、各種規則等を継続的に研修してください。１ロータリー年度で全てを解説することは不可能かも知れませんが、クラブ研修リーダーが熱心に研修している姿を見て、クラブ内の会員はきっと感激すると思います。そして、会員自らもロータリーに関する様々な事を率先して調べるようになれば、皆さんのクラブは活力ある素晴らしいクラブに変身すると思います。その為にも、皆さんは１年間のクラブ内での研修計画を立てて、これを実践して頂きたいのです。

－ ２ －

　　皆さんのクラブの創立当初の会員は、ロータリークラブに入会したけれども、ロータリーとは一体どんな団体なんだろうとお互いに研究し合ったものと思います。あるクラブのロータリー歴の長い会員が、私が入会した頃は例会にクラブ定款・細則を持ち寄って研究したものだと話しておられました。現在のクラブ例会に会員全員がクラブ定款・細則を持ち寄って、これらについて討論するという例会を実施しているクラブがあるでしょうか。地区内84クラブのほゞ全クラブが実施しておられないと感じます。

　　ロータリークラブは会員で構成していますが、その会員がロータリーの目的、各種規則を知らないで、或いは知ろうとしないで過ごしていたら、それはロータリークラブではなくなってしまいます。私は、ロータリーは仲良しクラブではない、と表現していますが、例会のあり方から変えて行かなければならないのではないでしょうか。

**入会３年未満の会員に対する研修**

入会後３年未満で退会してしまう会委員が多いようです。理由は様々でしょうが、入会時に期待していたロータリーが、入会してみたら、親睦が大切だからと言って娯楽的に楽しもうとしている姿に落胆した。ロータリーとはこの程度なのであれば、なにも高額な年会費を支払ってまで会員として継続しなくとも良い。こうした考えを持って退会してしまうという会員がおられないとは限りません。

入会して３年位経過すると、ロータリーについての知識も豊富になります。その知識を正確な知識として身につけて頂きたいものです。その為にもクラブ研修リーダーが率先して正確な知識を身につけなければなりません。手続要覧やＲＩのホームページ、ロータリーの友誌、その他の出版物等に注意深く目を通すようにしましょう。

クラブ研修リーダーは、入会３年未満の会員に対して、継続的に研修をして頂きたいと思います。例えば毎月１回程度（年間数回でも構いません）例会後集まってもらってロータリーについて語り合うような会合を企画して実施して頂きたいと思います。

**週報にロータリーに関する記事を掲載する**

週報は、クラブ会員が熱心に読むかどうかは別として(熱心に読んで頂きたいのですが)、印刷物として残るものですから、クラブ研修リーダーとしてロータリーに関する記事を掲載してください。毎週の週報に掲載するとなると、年間50回近く掲載することになります。掲載するボリュームにもよりますが、数回分を作成しておけば、毎週掲載も可能だと思います。話題はいくらでもあります。皆さんのご健闘をお祈りします。

**家庭集会（炉辺会合）を開催する**

是非家庭集会を開催して頂きたい。会員数の多いクラブは、複数回に分けて開催することをお薦めします。例会での卓話と違って、双方向の話し合いをすることにより、知らず知らずのうちにロータリーに関することを身に付けられると思います。

－ ３ －

**その他**

あるパストガバナーが言われた言葉に、昔は選ばれてロータリーに入会した。今はお願いされて入会している。こうした認識の違いがクラブの運営や、奉仕活動の実践に大きく影響しているのではないでしょうか。

私は、ＰＥＴＳで「ロータリーをぶっ潰そう」と題して話しました。あるパストガバナーから、山田さん、ロータリーをぶっ潰すなんてとんでもないよと言われました。私は何もロータリークラブを解散しようというのではありません。従来のやり方をぶっ潰して、本来のロータリークラブの運営にして欲しいというものです。

例会のあり方の例として、新たに会長に就任したので昨年通りに運営しようと初めても、例えば前年度の会長が点鐘するときに何か一言話してから点鐘していたが、次の年度では何も言わずにいきなり点鐘する方法にしました。すると次の会長は、点鐘のやり方はそのまゝ　実施し、もう一つ会長挨拶は短い方が良いと考え、短時間で済ませることにしました。その次の会長は、点鐘や会長挨拶はそのまま取り入れて、更に会長挨拶の内容をロータリーの話しは止めて時候の挨拶や事件・事故等の解説にしました。このようにして、継続性は大切だと言いながら、どんどん例会の内容が変わってしまい、遂に例会ではロータリーについての話し合いが全然されなくなってしまったのではないでしょうか。

こうしたことをぶっ潰して、ロータリークラブのあるべき姿を取り戻して貰いたいものです。その為にもクラブ研修リーダーが、しっかりして頂きたいのです。勿論例会の運営は会長やＳＡＡが取り仕切って実施しますが、クラブ研修リーダーとしての立場から、こうした事にも関与するよう期待します。

**最後に・・・**

　　ロータリーが110年もの長い間続けて来た活動。

　これららも

　　・ 私たちの住む社会が少しでも住みやすくなるように

　　・ 次世代に良い環境を残せるように

　　・ 世界中のひと達が笑顔になるように

　　　世の中の一隅を照らす光となって

　　　私たち会員全員で力を合わせて

　　　活動を続けて参りましょう

国際ロータリー第2790地区内84クラブの将来は、クラブ研修リーダーの皆さんのお力にかかっていると言っても過言ではないと思っています。本ロータリー年度、一生懸命任務を遂行してください。

皆さんご活躍で、クラブが活性化するよう祈ります。

－ ４ －